

教育民生

所管事務調査

陸前高田市子ども基本条例

7/1 ▶ 7/30 パブリックコメントの実施

8/20 陸前高田市子ども基本条例について
(パブコメで寄せられたご意見について)

9/4 所管事務調査中間報告について

請願審査

9/25 請願第2号
『『カリキュラム・オーバーロード』の改善を求めることについて』

9/26 請願第3号
「訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めることについて」



子ども基本条例起草に向けた語る会

- | | | | |
|------|-----|---|---|
| 委員長 | 佐々木 | 一 | 義 |
| 副委員長 | 大坪 | 涼 | 子 |
| | 佐々木 | 良 | 麻 |
| | 菅野 | 広 | 紀 |
| | 福田 | 利 | 喜 |
| | 伊藤 | 明 | 彦 |

子ども基本条例

教育民生常任委員会では、「陸前高田市子ども基本条例」の制定を目指し、これまで調査・検討を重ねてきました。7月には委員会起草した条例案について、パブリックコメントを実施しました。寄せられたご意見の中には、「子どもが地域に貢献しなければならぬといったプレッシャーを与えない表現とすべき」、「子どもの発達特性による環境との不調和を保護者だけの責任としない記述とすべき」といった趣旨のものがありました。

請願審査

後は、本条例の基本理念のもと、地域全体で子育てと子どもの成長を支えるまちづくりの推進が期待されます。また、議会としても、条例に基づき、積極的な政策提言や要望活動に取り組んでいくことを中間報告としてまとめました。

教育民生常任委員会に付託された請願について、9月25日に請願第2号「『カリキュラム・オーバーロード』の改善を求めることについて」を、9月26日に請願第3号「訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めることについて」をそれぞれ審査しました。



パブリックコメント実施結果をご覧ください

産業建設

所管事務調査

9/4 所管事務調査中間報告について

請願審査

9/25 請願第4号
「国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化を求めることについて」

請願審査

産業建設常任委員会は、9月25日に市役所で請願審査を行いました。

請願第4号「国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化を求めることについて」は、県内陸部と沿岸部を結び、物流や観光に資するほか、冬期間の交通難所を解消するため、また、平成26年には9万人を超える署名が集まったことなどから、早期事業化を進める意見書を関係機関への提出を求めるものでした。

審査では、請願者からの趣旨説明、紹介議員からの補足説明の後、市担当課への質疑を行いました。

委員からは、事業化までの経緯やトンネル開通後の展望、現在使用しているループ橋の耐用年数などの説明を求めま

した。

その後の意見交換では、新笹ノ田トンネルの早期事業化は住民からの強い要望であり、観光・商業面だけで無く災害対応という面においても必要性の高い整備であるとし、全委員の賛成により採択すべきものと決しました。

所管事務調査中間報告

委員の任期である、この2年間は、産業振興をテーマに掲げ、行政視察、及び漁業者や商工団体などへの所管事務調査を行ってきました。

その結果、「一次産業省力化機械導入補助制度の創設について」を市長へ政策提言し、同補助制度を実現しました。

さらに、本委員会からの発議で「陸前高田市中小企業・小規模企業振興条例」



意見書をご覧ください

- | | | | |
|------|---|---|---|
| 委員長 | 大 | 坂 | 俊 |
| 副委員長 | 伊 | 勢 | 純 |
| | 菅 | 野 | 秀 |
| | 小 | 林 | 一 |
| | 及 | 川 | 修 |



新笹ノ田トンネルの早期事業化が待たれる国道343号線(矢作町)